

野外彫刻プロムナード展 2026 ～展示作品が新しくなりました！～

問 都市計画課 都市企画係 (☎95-0129)

パティオ池鯉鮒のエントランスロード両側の歩道に展示されている彫刻が、9月12日(土)から新しい作品に入れ替わりました。展示期間は1年間です。このプロムナード展は平成12年から始まり、今年で27回目となりました。愛知県内芸術系大学の協力を得て、毎年作品を入れ替えて展示しています。

※今回の展示作品は、展示期間終了後、制作者との相談のうえ購入することもできます。詳細は問合せ先へ。

▼展示作品



◀近藤彩香
「若芽の風が吹く」
2026年制作
素材／
水性樹脂、
アクリル絵具



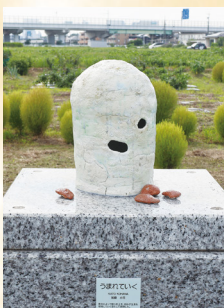
◀矢野大登
「機械化された蒸気記憶」
2026年制作
素材／
樹脂、鉄、木



◀向山佳伴
「バッド×モード」
2026年制作
素材／
アクリリックワ
ン樹脂



◀小林真理子
「湯き」
2026年制作
素材／
水性樹脂、
アクリル絵具



◀加藤小花
「うまれていく」
2026年制作
素材／陶



◀伊藤輝
「湖みたい」
2026年制作
素材／
セラミック、
ガラス

知立市クラウドファンディング

守り継ぐ 故郷の宝を未来へ みんなでつなぐ知立神社社殿修復プロジェクト

問 地域活動推進課 協働人權係 (☎95-0144)

知立市クラウドファンディングとは…

税控除を受けることができる「ふるさと納税制度」を活用し、具体的な事業を市が指定し寄附を募集する制度です。市内在住の人も、寄附を行うことができ、税控除を受けることができます。

▼事業目的・PR

知立神社は、知立市西町にある三河国二宮で、江戸時代には東海道三社の一つに数えられ、古くから地域の人々や旅人の信仰を集め

守り続けている神社です。特徴は、本殿から拝殿までの社殿が南北の中心線上に一列に並び、拝殿の屋根の妻側に入り口を設ける“妻入”という配置は“尾張造り”と呼ばれる形式で、三河地方では極めて希少な例とされ、戦国期の動乱を経て受け継がれた歴史と独自の社殿構成を今に伝えています。

このような経緯から、これら一連の主要社殿は、国の有形文化財として登録され、今日まで大切に継承されてきました。現在、社殿(幣殿・祭文殿・廻廊・拝殿)の檜皮葺き屋根の老朽化が進行していることから、今後も文化財的価値を低減させないためには、劣化した屋根の葺き替えが必要です。今回の知立市クラウドファンディングでは、不足する改修工事費用について募集します。

▼事業実施団体 宗教法人 知立神社

▼募集期間 10月15日(木)～令和9年1月12日(火)

▼目標金額 300万円

▼特典 詳細は右の二次元コードからホームページをご覧ください。



▲ふるコミ
ホームページ